

令和7年度 立志式

「立志式」を迎えた館林市立第三中学校第2学年125名の生徒の皆さん、おめでとうございます。

中学校3年間の一つの節目となるこの式は、これからの人生において、「自分は何を目指し、どのように生きていくのか」を考える大切な機会です。

そして、今この場所での自らの役割や責任を自覚し、社会やその組織に貢献することを誓う式でもあります。

立志の「志」、「こころざし」とは、自分の夢や目標のことです。しかし、それはただ願うだけでは叶いません。大切なのは、その志を実現するために「今」何をするのかを考え、行動することです。どんなに大きな夢も、日々の努力の積み重ねによって形になっていきます。

皆さんの未来には、無限の可能性があります。

しかし、夢に向かう道のりは決して平坦ではありません。時には困難に直面することもあるでしょう。そのときこそ、自分の志を思い出してください。

そして、「心に余裕を持ちいつも笑顔」「前向きにあきらめない心」「挑戦する勇氣」「支えてくれる人への感謝と尊重」を大切にしながら、一歩ずつ前に進んでいきましょう。

保護者の皆さま、本日はご多用にもかかわらず、一緒に立志のお祝いをしていただき、誠にありがとうございます。これからも子どもたちを温かく支えてあげてください。

結びに、皆さん一人一人が、今日立てた志を胸に刻み、力強く歩んでいくことを心から願っています。

本日は誠にありがとうございます。